

## ASIA PACIFIC

E-mail: support.jp@sunvalley.co.jp(JP)

JP Importer: 株式会社SUNVALLEY JAPAN

Address: 〒104-0032東京都中央区八丁堀3丁目18-6 PMO京橋東9F

## EUROPE

E-mail:

support.uk@vava.com(UK)

support.de@vava.com(DE)

support.fr@vava.com(FR)

support.es@vava.com(ES)

support.it@vava.com(IT)

EU Importer: ZBT International Trading GmbH

Address: Halstenbeker Weg 98C, 25462 Rellingen, Deutschland

## NORTH AMERICA

E-mail: support@vava.com

Tel: 1-877-969-8282 (Monday-Friday: 9:00 – 17:00 PST)

US Distributor: SUNVALLEYTEK INTERNATIONAL INC.

Address: 3100 Laurelview Ct, Fremont, CA 94538

## MANUFACTURER

Manufacturer: Shenzhen NearbyExpress Technology Development Co.,Ltd.

Address: 333 Bulong Road, Shenzhen, China, 518129

Learn more about the EU Declaration of Conformity:

<https://www.vava.com/pages/user-manual>

Made in China

Rev\_3.8



# 4K UST LASER PROJECTOR

## User Guide

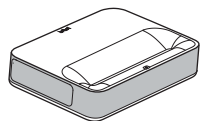


SOUND BY  
harman/kardon



DOLBY AUDIO™

## パッケージ内容



4K USTレーザープロジェクター (モデル: VA-LT002 revision2)

リモコン



電源コード



単四乾電池 x 2



ユーザーガイド

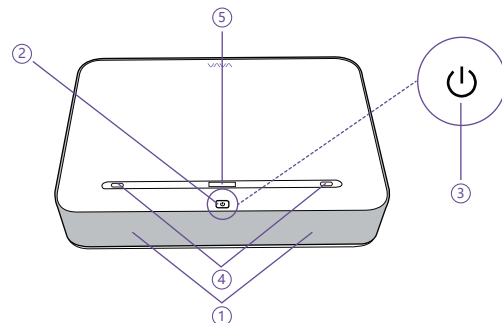


クリーニング用クロス

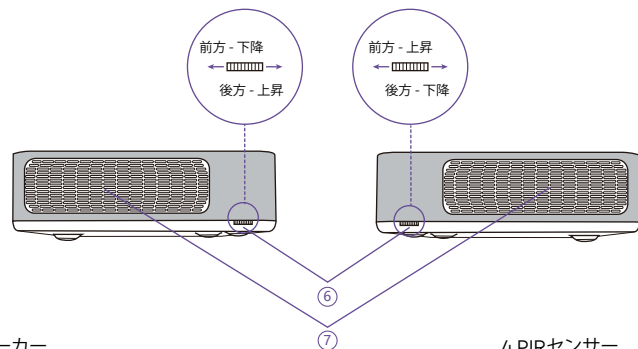


将来に移動させる場合に備えて、元のパッケージを適切に保管してください。  
移動時は納品時と同様に梱包し、製品を保護してください。  
製造元が指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。

## 製品外観図 プロジェクター 正面/上面



## 側面

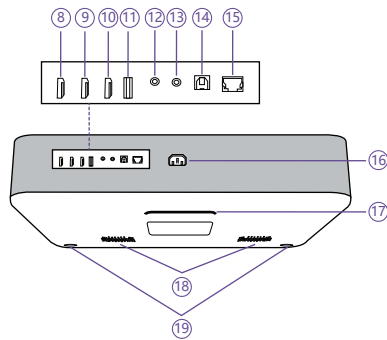


- 1.スピーカー
- 2.電源ボタン
- 3.ステータスインジケータ

- 点滅 ..... プロジェクターが起動中です / 終了中です、ボタンが作動しません。
- 消灯 ..... プロジェクターは電源から切断されています / プロジェクターが正常に動作しています。
- 点灯 ..... プロジェクターは電源に接続されていますがオンではありません。

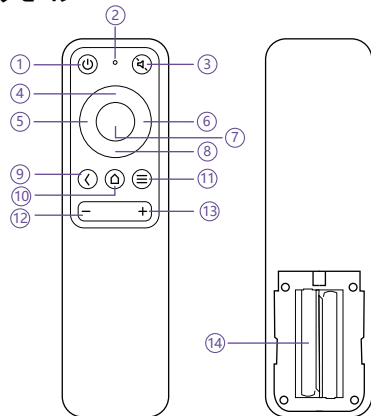
- 4.PIRセンサー
- 5.レンズ
- 6.高度調整ホイール
- 7.放熱口

## 背面/底面



- 8.HDMI入力1
- 9.HDMI入力2
- 10.HDMI 3 ARC
- 11.USBポート
- 12.オーディオ出力
- 13.AV入力
- 14.S/PDIFポート
- 15.イーサネットポート
- 16.電源ポート
- 17.後方の固定脚
- 18.スピーカーの放熱口
- 19.前方の固定脚 x2

## リモコン



- 1.消費電力
- 2.マイク
- 3.ミュート
- 4.上
- 5.左
- 6.右
- 7.OK
- 8.下
- 9.リターン
- 10.ホーム
- 11.メニュー
- 12.ボリューム -
- 13.ボリューム +
- 14.単四乾電池ホルダー

- 1) Bluetoothペアリングの際はリターンボタンとメニューボタンを同時に押します。
- 2) 映像の投影中は、メニューボタンを一回押せばメニューのインターフェイスが出現します。それ以外の状態では、メニューボタンを押し続ければインターフェイスが出現します。
- 3) マイク機能は将来に向けて予約されており、現時点では使用できません。
- 4) Bluetooth接続のリモコン操作には単四乾電池が2本必要です。

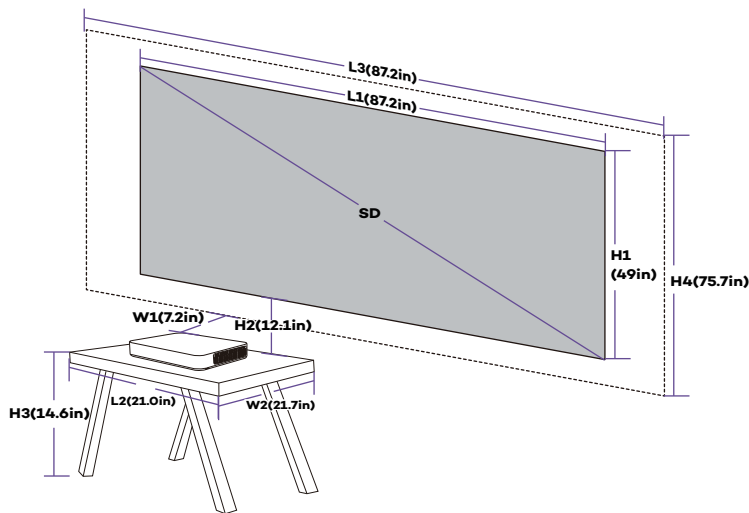
## インストールガイド

### 準備

コンセントは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。プロジェクターのインストール時は以下の4つの項目を考慮してください。

- 1) プロジェクターの背面と壁との距離 (W1)
- 2) 高さ: 画像の幅 (高さ) (H1)、画像の下端から取付台までの高さ (H2)、取付台の高さ (H3)、壁の推奨高さ (H4)
- 3) プロジェクターを設置する表面  
堅牢、平坦、水平な表面 (机など) であればプロジェクターを設置して画像を投影できます。  
取付台の寸法:  
- 移動式の台: W2、H3、L2  
- 固定式の台: W2、H3、L2、W1 (本機器を取付台の上に移動させるための空間を確保)
- 4) 投影画像  
投影用の壁は所望の画像面積よりも大きく確保してください。

### 投影用のパラメーター (100インチ例)



## 投影距離と画像寸法

| 本機器の寸法<br>(LxWxH)          | 画像(SD)     | 画像の<br>横幅<br>(L1) | 画像の<br>高さ(H1) | 本機器と壁との<br>距離(W1) | 画像と取付台の高さ<br>のギャップ (H2) |
|----------------------------|------------|-------------------|---------------|-------------------|-------------------------|
| 53.3 x<br>36.8 x<br>10.7cm | 80<br>インチ  | 177.1cm           | 99.6cm        | 9.5cm±1.2cm       | 28.5cm±1.5cm            |
|                            | 90<br>インチ  | 199.3cm           | 112.1cm       | 14.3cm±1.4cm      | 31.0cm±1.8cm            |
|                            | 100<br>インチ | 221.4cm           | 124.5cm       | 19.2cm±1.5cm      | 33.5cm±2.1cm            |
|                            | 120<br>インチ | 265.7cm           | 149.4cm       | 29.0cm±1.8cm      | 38.5cm±2.3cm            |
|                            | 150<br>インチ | 332.1cm           | 186.8cm       | 43.6cm±2.2cm      | 46.0cm±3.5cm            |

| SD画像       | 取付台<br>長さ<br>(L2) | 取付台幅 (W2)              |                                | 取付台高さ<br>(H3)      | 壁の長さ<br>(L3) | 壁の高さ<br>(H4)         |
|------------|-------------------|------------------------|--------------------------------|--------------------|--------------|----------------------|
|            | L2 ≥ L            | 移動式の<br>台:<br>(W2 ≥ W) | 固定式の<br>台:<br>(W2 ≥ W +<br>W1) | 1.3m高における<br>画像の中心 | L3 ≥ L1      | H4 ≥ H1 +<br>H2 + H3 |
| 80<br>インチ  | ≥<br>53.3cm       | ≥<br>36.8cm            | ≥45.3cm                        | 63.1~66.1cm        | ≥177.1cm     | ≥192.7cm             |
| 90<br>インチ  |                   |                        | ≥50.2cm                        | 54.1~57.7cm        | ≥199.3 cm    | ≥198.9cm             |
| 100<br>インチ |                   |                        | ≥55cm                          | 45.1~49.3cm        | ≥221.4cm     | ≥205.1cm             |
| 120<br>インチ |                   |                        | ≥64.6cm                        | 27.4~32cm          | ≥265.7cm     | ≥217.6cm             |
| 150<br>インチ |                   |                        | ≥79.2cm                        | 0~7cm              | ≥332.1cm     | ≥236.3cm             |

100インチ画像 ( 固定式の取付台 ) を例にとります。

- 1) 距離 (W1): 19.2cm±1.5cm
- 2) 高さ: H1: 124.5cm H2: 33.5cm±2.1cm H3: 45.1~49.3cm (従って、画像の中心は1.43mの高さに位置し、正面のソファに座った観客に最適) H4: ≥ 205.1cm
- 3) 取付台の面積 (L2 x W2): ≥ 53.3 x 55cm
- 4) 壁の面積 (L3 x H4): ≥ 221.4 x 205.1 cm



- 1) 数値は四捨五入または丸め込まれている場合があります。
- 2) プロジェクター下に換気用の空間を大きくとり、全ての面にて放熱口が塞がれないようにしてください。
- 3) プロジェクターをコンセントや電源の延長コードが届く範囲に設置してください。
- 4) プロジェクターが壁から遠ざかるにつれて画像のサイズは大きくなります。必要な距離に応じて、プロジェクターを配置する取付台を移動させてください。
- 5) H3に関しては、画像の中心が1.43mの高さにある時にソファから快適に鑑賞できるよう、推奨値が提供されます。この値は実際の状況に応じて変更できます。
- 6) 上記データは参考用であり、実機個体による誤差が生じる場合があります。投影スクリーンを取り付ける前に必ず実機の投影サイズを確認してから作業してください。

## プロジェクターのインストール

プロジェクターを取付台に配置し、本機器を壁と並行に保ったまま、必要な画像サイズに合わせて距離を調整します。

プロジェクターを電源に接続し、機器上またはリモコンの電源ボタンを押して電源をオンにします。ウィザードの指示に従ってください。以下の設定が含まれます。

- 1) リモコンとのペアリング
- 2) 言語の選択
- 3) ネットワーク設定
- 4) インストール方法の選択



## 機能

### 1. モーション検出

プロジェクターの正面にPIRモーションセンサーが2台取り付けられています。人々が近づくと、プロジェクターはレーザー光の輝度を落とし、眼に障害を与えないようにします。この機能はデフォルトで有効となっており、Settings (設定) -> General (一般) で無効にできます。リモコンのボタンのいずれかを押せば、レーザー光は元の輝度に戻ります。

### 2. 複数のスクリーンへの投影

VAVA Projectorアプリを使用すれば、プッシュ機能を使用して携帯電話のファイルを平坦な面(壁など)へ投影し、ビデオ、音楽、画像、ドキュメントなどを楽しめます。またはミラー機能を使用して、携帯電話の画面内容を壁に投影し、ビデオを閲覧したり、ゲームを楽しんだり、携帯電話上のあらゆる操作を行えます。



- 1) App StoreまたはGoogle PlayでVAVA Projectorアプリを検索しインストールします。現時点で、Androidバージョンはプッシュ機能とミラー機能に対応しており、iOSバージョンはプッシュ機能にのみ対応しています。
- 2) この機能を使用する際、携帯電話とプロジェクターを同一のネットワークに接続してください。
- 3) アプリをリモコンとして使用することができます。詳細な使用方法はアプリを参照してください。

### 3.HDR10

本プロジェクターは現時点で最も普及した高ダイナミックレンジ技術であるHDR10に対応しており、特にブルーレイ機器やゲーム用コンソール機に適しています。HDR10に対応しない他の機器と異なり、本プロジェクターはより高いダイナミックレンジで画像を投影し、細部をより細やかに表示します。言い換えると、本機器を使用すれば画像の明暗に関わらず楽しむことができます。

### 4.Dolby AudioとDTSデコード

本プロジェクターはDolby AudioとDTS（音声のみ）デコードに対応しており、ホームシアターに最適



- 1) Dolby Laboratoriesのライセンスを受けて製造されています。Dolby, Dolby Audioとdouble-DシンボルはDolby Laboratoriesの商標です。
- 2) DTSの特許に関しては、<http://patents.dts.com>をご覧ください。DTS Licensing Limitedのライセンスを受けて製造されています。DTS、シンボル、DTSとシンボルの組み合わせ、DTS-HD、DTS-HDロゴは米国および他の国々におけるDTS, Inc.の商標および/または登録商標です。©DTS, Inc. 無断複製・転載を禁じます。

### 5.過熱保護

内蔵の過熱保護機能は周囲温度が高い場合に機器を安全に保護します。周囲温度が35°Cを超えると、プロジェクターは自動的にエコモードに入り、電力を抑えるために輝度を下げ、結果として温度上昇を防ぎます。周囲温度が40°Cに達すると、本機器は警告メッセージを發します。43°Cに達すると、異常事態に対する保護機能を有効にして電源をオフにします。

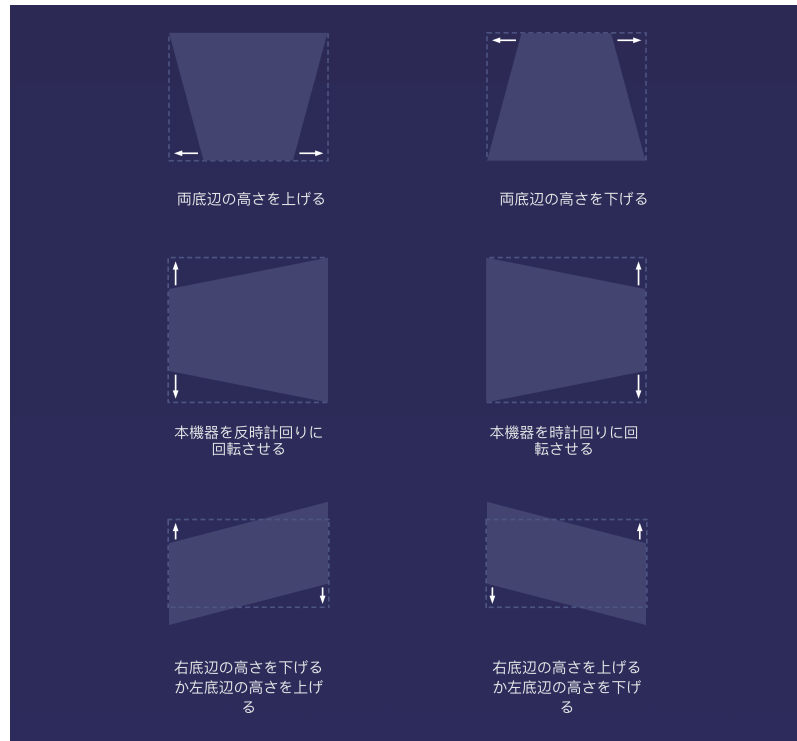
## 操作ガイド

### 1.電源オン/オフ

プロジェクターを電源に接続し、機器上またはリモコンの電源ボタンを押して電源をオンまたはオフにします。

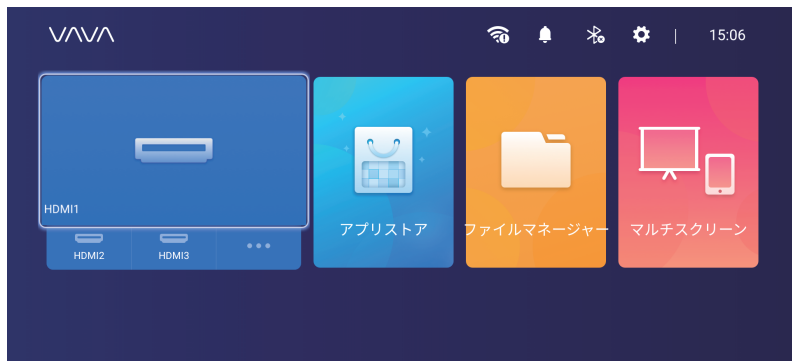
### 2.位置の調整

以下の指示に従い、プロジェクターの位置を調整し歪のない画像を得てください。



### 3.ユーザー操作の概要

ホームページには以下を含む主なセクションが4つ表示されています:信号ソース (HDMI & AV)、App Store、ファイルマネージャー、マルチスクリーン。上部にはネットワーク、通知、Bluetooth、設定のアイコンも表示されます。



### 4.周辺機器との接続

PS4ゲームコンソール、ROKU TV、コンピューターなどをHDMIポート経由で、DVDプレーヤーをAVポート経由で、USB機器をUSBポート経由で接続できます(5.ファイル管理をご覧ください)。また、高音質オーディオをS/PDIFまたはライン出力ポート経由で接続できます。

1) 接続する機器に合わせてHDMI1、HDMI2、HDMI3、AVなどの信号ソースを選びます。デフォルトでは、直前に使用したソースのプレビューが信号ソース選択時に表示されます。



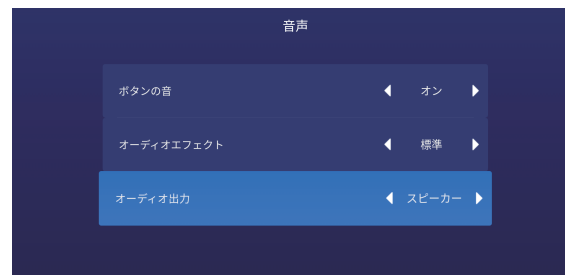
2) オーディオ出力を選択します。

ホームページにてSettings (設定) -> Sound (音声)を選択し、4つのAudio Output (オーディオ出力) から選びます。

- Speaker (スピーカー): 内蔵スピーカーを使用します。
  - Headphone (ヘッドフォン): ヘッドフォンに接続します。
  - S/PDIF: S/PDIFポートを通じて外部のオーディオ機器へ接続します。
- PCM: 全てのフォーマットを出力用にPCMへ変換します。

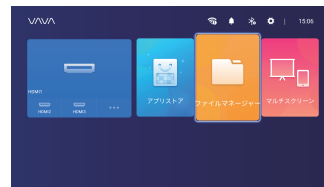
RAW: 音源は一切加工されません。良質な音声を得るために、Dolby AudioとDTSのソースを使用する場合に推奨されます。

- HDMI ARC: HDMI ARCポートを経由して音声を出力します。



### 5.ファイル管理

File Manager (ファイルマネージャー)にて、内部のフラッシュメモリー、接続されたUSBメモリー、NetHoodに保存されているファイルを管理できます。



1) 内蔵フラッシュメモリー

ダウンロードされたファイル、アプリへダウンロードされたファイル、USBメモリー内のファイルなどをプロジェクターの内部メモリーへ保存できます。

## 2) USBメモリーの使用

USBメモリーを接続すればインターフェースにファイルが表示されます。

## 3) NetHood

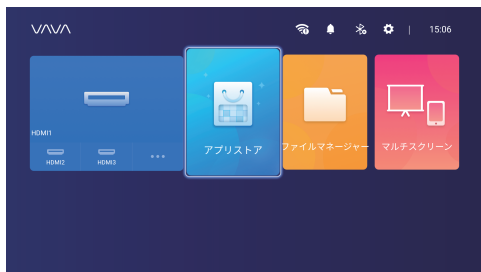
NetHoodを使用して、同一ネットワークにて共有された他の機器に保存されているファイルを観覧できます。



この場合、All Files（全てのファイル）フォルダーにてファイルを保存、閲覧、コピー、削除できます。

## 6.アプリの検索/インストール/削除

本機器にはAndroid 7.1システムとアプリのストアがインストールされています。ビデオ、音楽、ゲームなど、お好みのアプリを600以上ダウンロードしてインストールできます。ホームページからApp Storeへ入れば、アプリを検索、ダウンロード、インストールできます。



アプリを削除する場合は、ホームページにてアプリを選択し、OKボタンを押し続け、ポップアップウィンドウにてOKを選択してください。

## 7. Bluetoothのペアリング

上右隅のBluetoothアイコンを選択してBluetoothインターフェースに入ります。



### 1) Bluetoothスピーカーとして使用

インターフェースでOpen Detection（検出オープン）をオンにし、Input for Audio Mode（オーディオモードの入力）を選択します。携帯電話またはノートパソコンでBluetoothデバイスに表示されるプロジェクターのモデルを検索してタップし、プロジェクターの内蔵スピーカーを通じてお使いの機器の音声を再生します。（Settings（設定）->General（一般）->Device Name（機器名）にてプロジェクターのBluetooth名を確認できます）

### 2) オーディオ機器とのペアリング

インターフェースにてOutput for Audio Mode（オーディオモードの出力）を選択し、Search Devices（機器の検索）を選んでSearched Devices（検出済みの機器）からオーディオ機器を検索して指定すれば、自動的にペアリングが開始されます。ペアリングされたBluetooth機器はPaired Devices（ペアリングされた機器）に表示されます。

### 3) 他の機器とのペアリング

Bluetooth対応のコントローラー、キーボード、マウス、リモコンなどとペアリングする場合は、Search Devices（機器の検索）を選択し、Searched Devices（検出済みの機器）からペアリングする機器を選びます。



機器との接続を解除する場合は、Paired Devices（ペアリングされた機器）にて選択し、消去を選択します。



## 8.ネットワーク設定

上右隅のネットワークアイコンを選択してネットワーク設定インターフェースに入ります。  
有線接続の場合は、イーサネットケーブルを接続するだけで済みます。ワイヤレス接続の場合は、ド  
ロップダウンリストからネットワーク名を検索して選択し、パスワードを入力して接続します。本機器  
はネットワークの障害検出に対応しています。



- 1) Show Password (パスワードを表示)オプションはキーボードの表示時には選択できません。リターンボタンを押してキーボードを隠せば、このオプションのボックスをチェックできます。



- 2) パスワードを入力し、Doneキーを選択して接続します。



## 9.システムのアップグレード

- 1) OTA (オンザエア)更新  
Settings (設定) -> General (一般) -> System Version (システムのバージョン) を選択し、プロンプトが出現すればVersion Update (バージョンの更新) を選択します。
- 2) USBメモリーを通じた更新  
Settings (設定) -> General (一般) -> USB Disk Upgrade (USBメモリーによる更新) を選択し、USBメモリーにてアップグレード用のファイルを検索して選択し、Update (更新) を選択します。



- 必要であれば、Wipe Data (データ消去、システム関連の設定が対象)または/および Wipe Media (メディア消去、オーディオ/ビデオ/アプリなどのファイルが対象)を選択して機器のデータまたは/およびメディアファイルを全て消去できます。

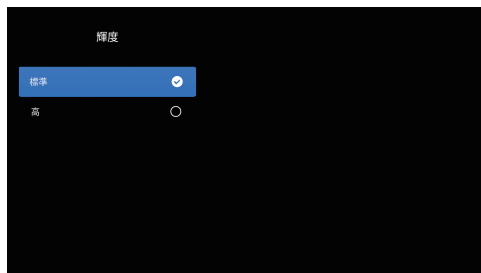
## 10.画像設定

Settings (設定) -> Display (ディスプレイ)へ進むか、何も投影されていない状態でメニューボタンを押し続けると、インターフェースが出現します。



### 1) Brightness (輝度)モード

Standard (標準) - 輝度を標準に合わせます。  
High (高) - 明るい環境で使用します。



### 2) Image (画像)パラメーター

image mode (画像モード)を選択したり、brightness (輝度)、contrast (コントラスト)、saturation (彩度)、resolution (解像度)、tone (トーン)、color temperature (色温度)などを調整できます。

### 3) Keystone correction (台形補正)

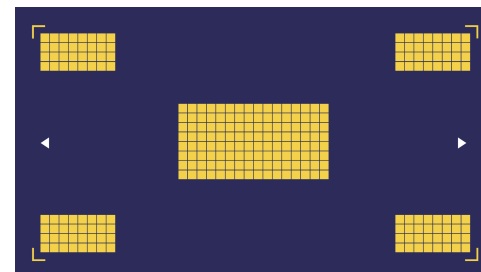
機器の物理的位置を調整して歪を改善(2.位置調整をご覧ください)する以外にも、台形補正を使用して画像を調整できます。



ここで紹介する台形補正はソフトウェアで実際の画像をビット単位で調整するため、明瞭度が犠牲になる場合があります。そのため、位置調整の章に記載されている物理的調整方法が可能であればご利用ください。

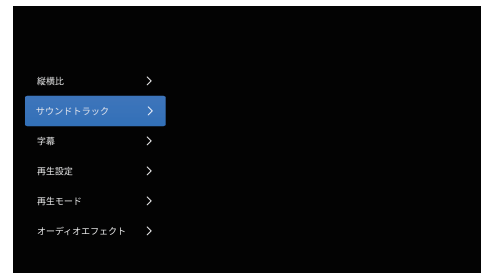
### 4) Electric focus (電子フォーカス)

リモコンの左右ボタンを押してフォーカスを調整し、インターフェース上で画像が最も明瞭に表示されるようにします。



## 11.再生設定

映像の投影中、メニューボタンを押すとサイドバーメニューが出現し、以下の項目が含まれます。Video ratio (映像比率)、Sound track (サウンドトラック)、Subtitle (字幕)、Playback settings (再生設定)、Cycle mode (サイクルモード)、オーディオ エフェクトです。



## 仕様

| 投影システム      |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 表示種類        | DLP                              |
| 光源          | レーザー (ALPD3.0)                   |
| スローレート      | 0.233                            |
| 投影サイズ       | 最大150インチ                         |
| 解像度         | 4K                               |
| 輝度均一性       | > 88%                            |
| コントラスト比     | > 300:1 (ANSI) / > 3000:1 (FOFO) |
| 色再現範囲       | Rec.709                          |
| スマートTVシステム  |                                  |
| システム        | Android 7.1                      |
| App Store   | Aptoide                          |
| EMMC        | 32GB                             |
| Ram         | 2GB                              |
| モーション検出     | あり                               |
| HDR10       | あり                               |
| 台形補正        | あり(8点)                           |
| 電子フォーカス     | あり                               |
| マルチスクリーン    | あり                               |
| オーディオ       |                                  |
| スピーカー       | Harman / Kardon、60W (合計)         |
| Bluetooth入力 | あり(携帯電話と接続)                      |
|             |                                  |

| Bluetooth出力 | あり(Bluetoothスピーカーと接続)                    |
|-------------|--|
| DTS         | あり                                       |
| Dolby Audio | あり                                       |
| インターフェース    |  |
| HDMI        | 3ポート (HDCP2.2、1つはARC対応)                  |
| USB         | 1 (5V DC, 500mA)                         |
| 映像入力        | AV3.5                                    |
| オーディオ出力     | ライン出力1 (3.5mm)およびS/PDIF 1                |
| RJ45        | 1  |
| 接続機能        |  |
| インターネット     | 有線とワイヤレス (802.11ac 2.4G / 5G 2T2R、DFSあり) |
| Bluetooth   | BT4.2 (デュアルモード)                          |
| 消費電力        |  |
| 入力          | 100-240V AC、50/60Hz、4A                   |
| 消費電力        | ≦360W                                    |
| スタンバイ時の消費電力 | <0.5W                                    |
| その他         |  |
| 寸法          | 533 x 368 x 107mm                        |
| 重量          | 10.8kg                                   |
| 騒音          | <32dB                                    |
| 動作温度        | 0 - 40°C                                 |
| 保管温度        | -20 - 65°C                               |
| アクセサリ       |  |
| リモコン        | Bluetooth                                |
| 電源コード       | 1.5m                                     |
| 単四乾電池       | 2  |

## 注意事項

### 1.レーザー光について

- ・レーザーがオンの状態では絶対にプロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強烈な光で目を損傷する場合があります。
- ・プロジェクターを分解したり、改造しないでください。高出力のレーザー部品を含み、深刻な怪我を生じる可能性があります。
- ・小さなお子様にプロジェクターを操作させないでください。お子様の使用時は保護者の同伴が必要です。

### 2.高温

- ・放熱口の近くには熱で曲がったり破損する物体は配置しないでください。
- ・投影中は放熱口に顔や手を近づけないでください。
- ・火災を避けるため、噴霧器といった可燃性の物体を機器の付近に配置しないでください。

### 3.定期メンテナンス

- ・付属のクリーニング用クロスまたはその他の業務用クロスを用いて、プロジェクターの外郭と上部カバーを定期的に拭き取ってください。傷がつくことを防ぐために、腐食性の漂白剤、溶剤、その他の強烈な化学薬品を使用しないでください。清掃前に、コンセントから電源コードを引き抜いてください。
- ・放熱が効果的に行われるよう、放熱口の周りには十分な空間を確保してください。
- ・音質を確保するため、スピーカーを障害物でふさがないようにしてください。
- ・本機器を分解すると保証が失われるのみならず、お客様や他の方々の方々の安全にも関わります。
- ・プロジェクターを水、熱源、高電圧、電気線、磁場の発生源の付近で使用しないでください。
- ・プロジェクターをお買い上げの国以外で使用する場合は、正しい電源コードをご選択ください。
- ・投影中は本やその他の物体でレンズを塞がないでください。プロジェクターを破損したり、火災につながる可能性があります。
- ・長時間使用しない場合はリモコンの電池を取り外し、液漏れやリモコンの破損が生じないようにしてください。
- ・現地の規制に従い、使用済みのバッテリーを速やかに、適切に廃棄してください。

## FAQ

| 質問                      | 回答   |
|-------------------------|--|
| レーザー光源のメリットを教えてください。    | 美しい光、高輝度、長寿命です。  |
| ALPD技術の原理を教えてください。      | 高度レーザー蛍光表示 (ALPD) は大型の表示技術であり、レーザー表示に不可欠な技術です。レーザーと蛍光材料は希土を素材としており、レーザーTVにおいてより高い色域を実現します。これは人間の眼が捕捉する範囲の最大90%に達し、現在市場に出回る最高級のLED製品が達成する62%をはるかに上回ります。最新のレーザー光源技術であるALPD3.0は光学設計により効率を改善し、構造設計と素材開発を通じて信頼性を向上させています。光源は非常に長寿命の20,000時間を実現し、累積的には100,000時間使用可能です。 |
| スロー比と超短スローとは何かを教えてください。 | スロー比はレンズからスクリーンとスクリーン幅への距離を示します。<br>比率が小さいほど、同距離でスクリーンを大型化できません。例えば、100インチのSD画像の場合、0.233の比率ではレンズとスクリーン間に516mmの距離が必要となり、1.00の比率では2215mmです。<br>0.3未満のスロー比を誇るプロジェクターは、超短スローと見なされます。   |
| スクリーンを用意する必要がありますか？     | スクリーンは必須ではありません。プロジェクターはあらゆる平坦な面で使用できます。性能を良好に保つために、単色の平坦な壁を用意してください。白色の壁が推奨されます。また、推奨スクリーンを使用すれば最高の体験を得られます。  |
| モーション検出が動作しません。         | センサーが塞がれておらず、設定にてモーション検出機能が有効にされていることを確かめてください。  |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| リモコンが動作しません。                  | 1) リモコンの電池が消耗していないことを確かめてください。<br>2) Bluetooth設定のインターフェースにて、リモコンが接続されているか確かめてください。さもなければ、再度接続してください。  |
| USBメモリのファイルを再生できません。          | 1) プロジェクターが対応していないファイル形式の可能性がります。<br>2) ファイルをコンピューターへバックアップし、USBメモリーをフォーマットした後、ファイルをUSBメモリーへ戻して、プロジェクターへ接続して再度お試しください。  |
| HDMIポート経由で機器を接続しても信号が伝達されません。 | プロジェクターは3個のHDMIポートを搭載しています。正しいポートに接続されているか、HDMIケーブルに損傷がないか、HDMI機器の電源がオンになっているか、確かめてください。  |
| 音声が出ません。                      | 正しいオーディオ出力（内蔵スピーカー/外付けスピーカー）がオーディオ設定にて選択されているか、ミュートされていないか確かめてください。   |
| 画像が不鮮明です。                     | 1) 元の映像の解像度が充分にあるか、確かめてください。<br>2) プロジェクターのフォーカスが合っているか確かめてください。Settings（設定）->Display（表示）->Electric Focus（電子フォーカス）でフォーカスを調整できます。  |
| 台形補正とは何か教えてください。              | ソフトウェアを使用して画像の歪を解消します。ただし、この機能が調整できる範囲には限界があり、画像の鮮明度を下げることになります。そのため、物理的に歪を解消するか低減させることが推奨されます。   |
| オーディオ出力の選択方法を教えてください。         | スピーカーに接続する場合は設定にて2つのオプションを選べます。PCMとRAWです。<br>1) PCM出力の場合、音源はデコードされます。広範な互換性を誇り、ほぼ全てのスピーカーに対応しますが、音質は多少下がります。<br>2) RAW出力ではオーディオ出力にデコードは施されず、原音が維持されます（接続されたスピーカーがオーディオのデコードに対応している場合）。<br>通常は、RAW出力が推奨されます。 |

## トラブルシューティング

| 問題  | 解決法  |
|---|--|
| 機器は画像を表示しないか、異常が発生しています。                            | S機器の電源をオフにして、電源コードを抜いてください。1分後にコードを接続し、機器の電源をオンにしてください。  |
| Androidシステムがシャットダウンしました。                            | 機器の電源をオフにして、電源コードを抜いてください。1分後にコードを接続し、機器の電源をオンにしてください。   |
| リモコンの接続が途切れました。または、ペアリングされていないために機器をワイヤレスでオンにできません。 | 機器の電源をオフにして、電源コードを抜いてください。1分後にコードを接続し、機器下部のボタンを用いて電源をオンにしてください。続いてリターンとメニューボタンを同時に押し、リモコンを再度ペアリングしてください。   |
| システムは高温を通知するメッセージを表示し、機器が自動的にシャットダウンします。            | 機器が適切な周囲温度（機器の動作温度範囲）で動作しており、放熱口がふさがれていないようにしてください。機器を再起動してください。   |
| 機器の電源がオンになりません。                                     | 機器がコンセントに接続されており、コンセントが通電しているか確かめてください。機器の電源ボタンを押して起動してください。   |
| Androidシステムがフリーズしています。                              | 1) システムキャッシュが多すぎます。Androidの空き空間を確保し、あまり使用していないアプリを削除してください。<br>2) ネットワークの問題: ネットワークがオンラインでのビデオ鑑賞に対応しているか確かめてください。理論的には、中断なく1080pの映像を鑑賞するには8M以上の帯域が必要です。<br>3) 機器の電源をオフにして、電源コードを抜いてください。1分後にコードを接続し、機器の電源をオンにしてください。 |

## 保証

当社は特定の現地方針に基づき、アフターセールスのサービスを提供します。詳細は現地の営業担当者またはアフターセールス部門にお問い合わせください。

ご質問がおありの場合はsupport.jp@sunvalley.co.jpまでお気軽にお問い合わせください。